

あおぞらだより

第255号(発行/令和6年10月)

秋の工作



1.2 病棟

ぶどうとマスカット

折り紙で実を、お花紙で葉っぱを表現しました



秋らしくて
いいですね！



可愛い〜♡

3.7 病棟

赤とんぼ、ススキ、キキョウ

それぞれ紙テープや折り紙を使って
秋らしい作品になりました

秋の工作 いちちょう

キレイな色
ですわ

銀杏もあるじゃない。
おいしそう～

イチヨウ？
キレイね！



8 病棟

秋らしいイチヨウの作品
を折り紙で作りました。
折り紙を細かく蛇腹お
りにするところが「難し
い」という声が聞かれま
したが、きれいな作品
に仕上がりました。



自由研究発表会

テーマは「あゆみ」

来年は
薬の話に
しようかな

緊張した。(発表が終わって)
少し気が楽になった

大変
だった

いろいろな病状、生き立ちがあるんだな

毎年なんとなくテーマを決めて取り組んでいます。かといってテーマに沿ってなくてもそれはそれでOK。みんなの前で発表することで緊張を味わったり、準備をして発表を成功させて、達成感を味わうこともあります。病状を振り返ることで、自己理解に繋がることもあります。今年のテーマは「あゆみ」病気の経過や今後についてなど様々な発表がありました。病棟の患者様やスタッフも見に来てくれていました。「笑顔がいいですね」「落ち着いてる姿がみられてよかった」「感動した。」と声をかけてくれました。

デイケアつぼみ

心理室のこまど

♪まどを、あけ~れば~

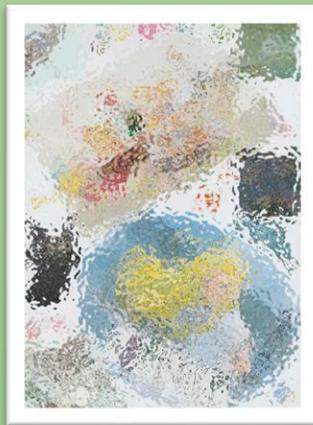
デイケアで心理師がコラージュ療法をやっています。

コラージュとは、フランス語で貼り付けるという意味で、芸術療法の1つです。

うまいへたでなく、自分が思うように作り表現することが大切だとされています。

コラージュ療法の効果

作品を作る人は、コラージュをとおして、様々な内面を表現できます。そして、作品を見る人は、相手の気持ちを理解することができます。作品を作る人と、見る人との相互作用でコミュニケーションが深まります。



コラージュ療法のやり方
用意するもの

写真入りの雑誌やカタログ、はさみ、のり、紙

1. 雑誌から、気になった所を切り抜いて、集める
2. 用紙に切り抜きを好きな様に貼り付け完成。
3. 作った人と見る人が、作品を見たりお話をしたりします。

編集後記：夏が終わりいろいろな作物の収穫の時期である秋がやってきました。食べ物がおいしいこの季節は「食欲の秋」と呼ばれていますね。また、「天高く馬肥える秋」ということわざがあるのをご存じでしょうか。昔の中国では「夏の草を食べて強くなった馬に乗って敵が攻めてくるから気をつけろ」という意味で使われていたそうです。日本に伝わってからは食欲の秋を表すこのことわざですが今と昔で意味が全く違うというのも面白いですね。

(編集委員会)

『あおぞらだより』に関するご意見・ご感想・ご投稿などは『医療相談室』までお寄せ下さい。

医療法人社団全生会 江戸川病院
〒278-0022 千葉県野田市山崎2702
電話 04-7124-5511(代)
<http://www.edogawa-hp.com>